

「持続可能な地域社会づくり」の実現を目指して

～ 熊野町教育委員会の取り組み ～

熊野町には、中学校2校、小学校4校があります。本年度、小中学校6校すべてが、ESDを推進するユネスコスクールへの加盟手続きを行われており、「持続可能な地域社会づくり」の担い手を育成されています。

熊野中学校は、平成14年度より、「組曲『筆の都くまの』」に取り組み、毎年、学校の体育祭や文化祭だけでなく、地域の筆まつりや町民体育大会でも披露し、地域の皆さんから大きな拍手をいただいています。

熊野東中学校は、約10年前から、毎年、体育祭などで「東中ソーラン」に取り組み、学校と地域を結ぶ大きな役割を担っています。

このように、熊野町教育委員会と熊野町社会福祉協議会が連携し、「地域テーマ募金」を推進しています。



熊野町立熊野中学校・組曲「筆の都くまの」



熊野町立熊野東中学校・東中ソーラン



熊野町立熊野東中学校・彼岸船



広島県共同募金会 は

“ ESD ” を 応援しています。

ESDは持続可能な社会づくりを目指す活動です。

〔ESD : Education for Sustainable Development〕



広島県の共同募金運動は、各地の教育委員会や社会福祉協議会等の協力のもと、
広島県内の学校や地域を主体とした「持続可能な地域社会づくり」を支援します。

社会福祉法人 広島県共同募金会